

自転車駐車場は黒字経営

市は6月議会に、自転車駐車場使用料の値上げを提案しようとしています。しかし、自転車駐車場は黒字経営です。管理はシルバー人材センターに委託し、使用料収入は市に入ります。

18年度は、自転車駐車場の使用料収入は10700万円、土地借地料1952万円、シルバー人材センターへの委託料7660万円、差し引き1088万円の黒字となっています。



保育料は1人2500円の値上げ予定

保育料は、平成17年に1人2000円の値上げが行われたばかり。それなのに、さらに1人2500円の値上げを行おうとしています。

市は、「国の保育料基準の62〜63%しか徴収していないから、国基準の70%まで徴収したい」との考えです。

交野市は、子どもの医療費助成や妊婦健診の公費負担回数において、近隣他市より大きく遅れています。そのうえに、保育料の値上げは、子育て世代に大きな負担となります。日本共産党は、安心して子育てと仕事ができるためにも、保育料の値上げ中止を求めたいきます。



国の基準が高すぎるから、多くの市町村で国基準より低い料金設定をおこなっています。市は今後、幼児問題対策審議会に諮り、値上げの検討に入っていきます。

施設の利用料金値上げ

ゆうゆうセンター・総合体育施設・青年の家などの施設の利用料の値上げが、5月号広報で発表されました。

定管理者制度が導入され、今までより経費が随分低く押さえられています。値上げする理由はありません。

これから益々市民活動が活発に行われていくことが期待されています。そのよ

うな時に、公共の施設こそ低い料金で提供することが求められています。



幼児問題対策審議会が答申

「あまだのみや幼稚園を平成22年度末で廃園に」の方針

幼対審の答申の内容

公立幼稚園のあり方について審議していた交野市幼児問題対策審議会が3月末に答申を出し、第1幼稚園（あまだのみや）の幼稚園部分を、平成22年度末（23年3月）で廃園（保育所部分は存続）にすることを提案しました。

答申では、①就学前児童の減少と交野市の財政状況から、幼稚園1園を廃園にする、②通園距離や園児数などから、第1幼稚園を廃園にするのが適当、③廃園により空いた教室などを活用して子育て支援事業をおこなうことなどが示されています。

市民は

廃園を望んでいない

就学前児童数はやや減少の傾向とはいえ、公立幼稚園は定員以上の申込がある

公教育の役割を守れ

公立幼稚園は、私立に比べて費用が安く、家庭の経済的事情によらず通園することが可能です。また、ベテランの先生も多く、障害児も多数受け入れてあります。財政難を理由に公立幼稚園を切り捨てるのではなく、公立ならではの役割を発揮して、どの子にも豊かな就学前教育を保障することが求められています。



6月議会の予定(案)

月	日	曜	議会日程
5	27	火	議会運営委員会
6	3	火	本会議(議案上程)
	6	金	常任委員会
	9	月	常任委員会(予備日)
	11	水	議会運営委員会(意見書の取扱い)
	16	月	本会議(一般質問)
	17	火	本会議(一般質問)
	18	水	本会議(一般質問)
	19	木	本会議(予備日)
20	金	本会議(委員長報告・採決)	